

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	未来を拓く人と心を育むまちづくり	分野(章)番号	2
政策名(項)	まちづくりを担う人材の育成	政策(項)番号	II
施策名(目)	結婚相談の推進	施策(目)番号	④
担当課	企画財政課	担当課長	栗野 由三

1. 施策の基本方針

施策目的	・まちづくりを担う人材育成の前提となる、若者の定住化と少子化対策のため、結婚を望む男女に結婚相談や出会いの場を提供し、婚姻を促進する。
------	---------------------------------------------------------------------

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・自営業に従事する独身者はもとより、会社員等も就業形態の多様化により男女の出会いの機会が減っており、出会いの場が求められている。 ・個人的に結婚相手を紹介する人も少なくなり、結婚相手を紹介されることを望んでいる独身者が多い。 ・営利を目的として結婚仲介業を営む所は多数あるが、後継者の多い地方の独身者にとって、望む相手にめぐり合えるのが疑問であり、経済的な負担も大きいため、安心して任せられる公的な機関が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にも、就業形態の多様化による経済的な事情や女性の結婚観の変化により、晩婚化や非婚化が進行している。特に、農山村の後継者にとっては、結婚対象者となる異性が都市部への流出等によって減少しており、さらに厳しい状況にある。 							

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
主要	成婚組数	目標			3組	3組	3組		3組
		実績	0組	4組	2組				
		達成率			67%				
参考①	結婚相談回数	目標			1,600回	1,600回	1,600回		1,600回
		実績	1,850回	2,558回	2,667回				
		達成率			167%				
参考②	登録会員数	目標			145人	145人	150人		150人
		実績	128人	123人	124人				
		達成率			86%				
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		1,707千円	2,068千円	2,068千円	1,773千円	2,038千円	2,038千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	1,707千円	2,068千円	2,068千円	1,773千円	2,038千円	2,038千円
従事者数	正職員	0.50人/年	0.50人/年	0.50人/年	0.50人/年	0.50人/年	0.50人/年
	臨時職員	2.00人/年	2.00人/年	2.00人/年	2.00人/年	2.00人/年	2.00人/年
人件費	正職員	3,366千円	3,394千円	3,394千円	3,394千円	3,394千円	3,394千円
	臨時職員	2,208千円	2,304千円	2,304千円	2,290千円	2,398千円	2,398千円
	退職給与引当金	434千円	454千円	454千円	454千円	454千円	454千円
	トータルコスト	7,715千円	8,220千円	8,220千円	7,911千円	8,284千円	8,284千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・今年度の成婚数は2組で、目標より1組多く成婚となった。前年度は東日本大震災の影響により結婚しづらい雰囲気であったが、徐々に生活も安定してきたことによるものと考えられる。また、当相談所の様々な支援や勧誘等により、イベントに参加して成婚を目指す会員も多く、相談件数も前年度に比べ格段に増えている。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・結婚相談所のこれまでの事業活動や実績が、町民や会員に徐々に理解され、家族や会員の勧めによる相談回数や出会いのイベント応募者が増えつつあるので、成婚数のある程度の増加は可能である。
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]			・人材育成の前提となる、幸せな家庭づくりにとって結婚は重要な要素であり、町民が安心してこの問題を相談できる面からも、貢献度は非常に高いと思われる。

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男性に比べ、女性の会員数が少ないので、女性への入会勧誘活動を強化する必要がある。 ・結婚を希望する方やその家族の方が、世間体を気にすることなく気軽に来所できるようにするため、健全な結婚思想の啓蒙・普及をさらに進める必要がある。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・少子化対策の第1歩が青年の婚姻対策であり、男女の出会いと結婚の機会づくりは社会的に意義は高まっていることから、引き続き結婚情報や機会提供を行う取組みを行っていく。
------	------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。